

平成23年度

全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会

国際教育研究部会

実施案内

主催

財団法人日本私学教育研究所

後援

日本私立中学高等学校連合会

◆研究のねらい◆

グローバル化から外れた日本の教育をどうするか

本研修会(部会)は、諸外国の教育制度を研究し、わが国の教育制度との比較などから、「海外在住生徒教育」、「帰国生徒教育」、「外国人生徒教育」、「国際理解教育」等をいかに有機的に連携させるか、また、これらの私立学校の先導的な実践の積み重ねが、公教育全体の発展にどう寄与してきたかについて研究し、更に、国際社会において、グローバルな視野に立って主体的に行動するために必要となる様々な知識やスキルを生徒に習得させるための教育について研究することを目標とします。

昨年度の本研修会では、「グローバル化の中の国際教育—私学教育の現状と展望—」をテーマとして開催しましたが、日本の現在のグローバル化の遅れが露呈される形になりました。

その研修内容を受けて、本年は、テーマを「グローバル化から外れた日本の教育をどうするか」として、現在、グローバル化に積極的に対応している企業や大学の関係者をお招きして、今後の日本の教育についてご提言いただくことといたしました。

まず、インテル株式会社教育プログラム推進部長の柳原なほ子氏からは、インテル株式会社が提供するワークショップを交えながらご講演をいただき、午後からは、外務省広報文化交流部の村田直樹部長、立命館アジア太平洋大学の近藤祐一教授、SCS国際会計事務所グループ公認会計士の少徳健一氏をお招きし、本部会の専門委員である須藤 勉氏、平方邦行氏(コーディネーター)が加わりパネル・ディスカッションを通じて様々な視点からご提言をいただきます。

さらに、研修会の締めくくりとして、2つのプログラムの後に、参加者全員でテーマに基づいて、私学の国際教育に関する協議・意見交換を行いたいと考えています。

国際教育担当のみならず、多くの先生方の参加をお待ちしております。

◆ 会 期 ◆ 平成23年8月26日(金)

◆ 会 場 ◆ アルカディア市ヶ谷(私学会館) (〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25)
※研修会に関するお問い合わせは、日本私学教育研究所(電話03-3222-1621)をお願いします。

◆ 募集人員 ◆ 50名(先着順)

◆ 参加対象 ◆ 理事長、校長、副校長・教頭、国際理解教育担当及び一般の教員

◆ 基調講演 ◆ 演 題 「21世紀型スキル—これからの社会で求められる人材—」
講演および「Intel® Teachプログラムの5つの視点」体感ワークショップを実施します。

講 師 柳 原 なほ子(インテル株式会社 教育プログラム推進部 部長)
指導講師 Intel® Teach プログラム公認トレーナー(ワークショップ)

◆ パネル・ディスカッション ◆

テーマ 「グローバル化から外れた日本の教育をどうするか」

パネリスト 村 田 直 樹(外務省広報文化交流部 部長)
近 藤 祐 一(立命館アジア太平洋大学 教授)
少 徳 健 一(SCS国際会計事務所グループ 公認会計士—マレーシア・シンガポール・東京担当)
須 藤 勉(東京学園高等学校 校長)
コーディネーター 平 方 邦 行(聖学院中学高等学校 校務部長)

※現在、パネリストとして海外の大学関係の方に交渉をしておりますが、各国において、日本への渡航自粛が行われており、交渉が難航しております。決定次第、ホームページにてお知らせいたします。

※次ページに基調講演講師、パネル・ディスカッションパネリストのプロフィールを掲載しております。

◆ **研究協議** ◆ テーマ 「グローバル化から外れた日本の教育をどうするか」

基調講演およびパネル・ディスカッション後にそれぞれの内容に関して協議および意見交換して頂きます。

基調講演 講師 プロフィール

柳原なほ子：新潟県上越市生まれ。上智大学外国語学部卒業後、凸版印刷㈱勤務。米国カリフォルニア州 Monterey Institute of International StudiesでMBA取得後、ITT World Directoriesに入社。NTTとの合弁会社、日本電話帳開発株式会社勤務を経て、1999年7月 インテル株式会社に入社。2004年6月より現職。インテルの社会貢献活動である、教員研修（Intel® Teach プログラム）や、高校生の課題研究コンテスト（Intel ISEF）の普及・啓蒙を通して、21世紀を生きる人材育成を支援。中央教育審議会初等中等教育分科会学校段階間の連携・接続等に関する作業部会委員、JST科学の甲子園推進事業委員。

パネル・ディスカッション ハネリスト プロフィール

村田直樹：1978年文部省入省。大臣官房企画室、臨時教育審議会事務局、在連合王国日本大使館、高等教育局大学改革推進室長、私学助成課長、私学行政課長、大臣官房国際課長、科学技術・学術政策総括官、横浜国立大学事務局長、文部科学省大臣官房審議官（高等教育局担当）等を歴任し、現在外務省広報文化交流部長。

近藤祐一：1958年福島県生まれ。国際基督教大学卒。在学中、交換留学生として米国ミシガン州ランドバレー州立大学で1年間学ぶ。国際基督教大学卒業後、米国ミネソタ大学大学院スピーチコミュニケーション学科修士課程に入学、1982年修士課程修了後、1985年まで国際基督教大学で助手等を勤める。1985年より南山大学に着任、2006年に退職するまでに、ミネソタ大学大学院博士課程修了、学位取得（研究テーマは「留学生や社会人が異文化に慣れるためのトレーニング方法と効果に関する研究」）。Ph.D（スピーチコミュニケーション）。2006年に立命館アジア太平洋大学にアジア太平洋学部教授として着任。同大学入学部の部長を兼任。

少徳健一：1971年生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業。大手会計事務所系コンサルティング会社にて、大手リース会社のシステム構築に従事、公認会計士試験合格後、大手会計事務所にて、法定監査、任意監査（USGAAP等）及びこれに付随するコンサルティング業務に従事。その後、大手会計事務所のクアラルンプール事務所にて、日本企業の東南アジア進出支援を行うと同時に既進出企業に対して、会計・監査・税務・労務・法務・政府等への許認可等にかかるコンサルティングサービス等を提供する。大手会計事務所を退職後、マレーシア初の日本人公認会計士によるコンサルティング会社を設立。東南アジアの日本企業及び日本に進出する東南アジアの企業に対して、質の高いサービスをリーズナブルな報酬で提供することをモットーにして、コンサルティング業務提供し、現在に至る。

◆ **基本日程** ◆

8月26日(金)	9月30日	10月	11月30日	12月15日	13月15日	14月	15月30日	16月30日	17月
	受付	開会式	基調講演 (ワークショップを含む)	昼食	パネル・ディスカッション		研究協議		閉会式

◆ **講師・指導員（順不同）** ◆

- 柳原 なほ子（インテル株式会社 教育プログラム推進部 部長）
- 村田 直樹（外務省大臣官房広報文化交流部 部長）
- 近藤 祐一（立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部 教授、同大学教学部 副部長）
- 少徳 健一（SCS国際会計事務所グループ 公認会計士（マレーシア・シンガポール・東京担当）
- 中川 武夫（淑徳巣鴨中学高等学校 校長）

◆ **専門委員・指導員（順不同）** ◆

- 大羽 克弘（千葉英和高等学校 理事長・校長）
- 須藤 勉（東京学園高等学校 校長）
- 平方 邦行（聖学院中学高等学校 校務部長）
- 山中 幸平（学校法人山中学園 理事長）
- 鈴木 秀一（財団法人日本私学教育研究所 事務局長）

平成23年度 全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会
国際教育研究部会 参加申込書

平成23年__月__日

① 参加者氏名	(ふりがな)		男 〔 女〕
② 学校名		③ 職名	
④ 学校住所	〒 TEL () FAX ()		
⑤ 参加確認証送付先 ※上記の参加者ご本人、または 学校住所以外への送付を希望 する場合にご記入ください。	〒 (受取人氏名_____)		
⑥ 参加者連絡先*	※緊急の場合、確実に連絡がとれる携帯電話番号・自宅電話番号等をご記入ください。		
⑦ メール アドレス	<div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <small>※今後、当研究所からの研修会のご案内等のメール配信をご希望の方は、メールアドレス（携帯電話のメールは不可）をご記入ください。（過去に当研究所の研修会に参加し、申込書等にご記入いただいた方は、すでに登録されておりますので、記入の必要はございません。アドレス変更の場合はご記入ください。）</small>		
⑧ 通信欄（研修会で取りあげたい課題・事例等がございましたら、あわせてご記入ください。）			